

# 穂学



令和4年度

広州日本人学校 学校便り

[No.20]

令和5年2月24日(金)

発行責任者 校長 加藤康徳

「コロナ禍前に戻りつつあります。」

春節休みが明けてから約1カ月が経とうとしております。多くの人々の移動により新たなオミクロン株の流行などが懸念されていましたが、少なくとも広州市内、広東省内では、昨年の12月から今年の1月にかけて感染の拡大、及びその後の収束以降、特に大きな問題も無く、コロナ禍前の状況に戻りつつあるようです。

本校においても、様子を見ながら健康チェックカードの提出、及びマスク着用の義務などの制限を現地校の対応状況を参考にしながら徐々に解除してきました。ここ最近は「昨年までの3年間で夢だったのではないかと時々思い出すぐらいの状況になっています。そして、先週からは教室を回るとマスクで顔を覆っていない本当の子ども達の表情(笑顔)に出会えるようになりました。喜ばしいかぎりです。

さて、今年度も残り1カ月となりました。新型コロナウイルス感染や隔離の恐怖から解放されたこの令和4年度はきっと誰もが忘れることのできない年度になったと思います。残りの日々を大切にしながら3月9日の修了式を迎えさせたいです。



＜学校経営のスローガン＞

「つながり」を「未来に実感」させる

広州日本人学校の創造

＜大切にしている5つのつながり＞

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



＜図書ボランティアの皆様＞

お世話になりました。来年度もよろしくお願いいたします。



＜卒業を祝う会(小6)＞

小6の保護者の皆様、ありがとうございました



＜ドラムセットの寄贈＞

広州星野楽器製造有限公司様からドラムセットを寄贈していただきました。



＜トヨタの工場見学＞

5年生が南沙区にあるトヨタの工場に見学に行きました。

<2月の学校の様子です。> ※現在は通常の教育活動を行っています。



<中学部活動>

1月前半に新型コロナウイルス対応に関する保護者の意識調査を実施

1月13日に新型コロナウイルス対応に関する学校の対応を連絡



<タブレットを使った授業>



<家庭科の調理実習>

2月5日から家庭での抗原検査（毎週日曜日）と報告を解除

2月14日から各ご家庭で行われていた朝の健康観察チェックを解除



<音楽部の発表会>



<研究授業・公開授業>

2月20日から学校でのマスク着用義務の解除（※スクールバスは着用）

2月23日から体育館で本格的な卒業式の練習が始まりました。体育館での活動も今は特に制限はありません。



<全児童生徒によるスポーツイベント>